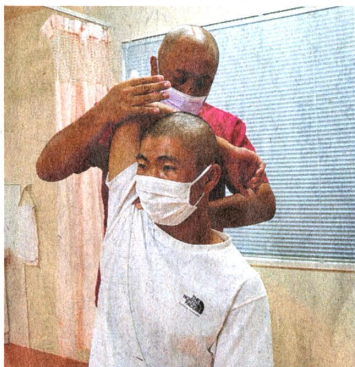


長野の三陽中出身 大矢青葉選手が 甲子園振り返る 治療院で「来年は優勝を」



清水さんに肩の状態を整えてもらう大矢さん（手前）

長野市三陽中学校出身で今夏の甲子園で二松学舎大付属高校（東京）のメンバーとして3回戦まで勝ち進んだ2年

の大矢青葉さん（17）が20日、中学時代から通っている市内にある「清水治療院」の清水克彦院長（46）を訪ね、戦いを

振り返った。

大矢さんは中学2年の春、腰を痛めて通院を始めた。東京ヤクルトスワローズのトレーナーを務めた清水院長に投球フォームや体の使い方も教わり、卒業まで多い時は週1回ほど通った。この日は卒業して以来の再会となった。

二松学舎大付属高校は今夏、3回戦で強豪の大阪桐蔭に敗れた。先発投手だった大矢さんは「自分のミスで

失点しチームにいい流れをつくれなかった」と省みた。ただ、試合後に主将の小林幸男さん「長野市犀陵中学校出身」に謝ると「おまえがいなかったらここまで来られなかった」と言われたといい、「来年は優勝したい」と前を向いた。

清水院長は「持っているものはいい。トレーニングを重ねればもっと良くなる」と今後の活躍に期待していた。